



江工会関東支部の皆様へ

幹事A40 河野 一史
E47 千代延 武

第29回野山散策「梓川の水と緑が育む岸辺の遊歩道さんぽ」の報告

電車とバスを乗継で約5時間で大正池のバス停で下車、広く静かな水面に映る、残雪の焼岳と穂高連峰の雄大な景色に感動しました。梓川の河原にて昼食、川面に吹く高原の風は爽やかにそよいでます、田代湿原を抜け、展望の良い木道を行くと、梓川越しに見える、穂高連峰がずっと寄り添ってます。本日の目的地上高地のシンボル河童橋へ「穂高連峰に梓川と河童橋」の構図は見飽きることがありません。タクシーで30分白骨温泉へ、見晴の良い露天風呂乳白色のお湯が眩しい、美味しい夕食を戴き、酒量年々衰えてます。翌日は早朝より、昨日と男女が入替った、露天風呂に入り、お腹に優しい朝食を頂き、タクシーで上高地に戻り、二日目の散歩のスタートです。澄んだ湧水をたたえる岳沢湿原、清冽な水の流れ、いくつかの流れに掛る木橋を渡り、湧水をたたえる神秘の池、明神池に旅の安全を祈り参拝、思い掛けず、船べりに立つ新郎新婦を乗せた小舟が静々と池面を進んで居ました。明神橋の袂にて昼食をとり橋上から明神岳下流に梓川の急流と六百山、上流方面に鎮座する山々など爽快な展望を満喫し折り返して梓川左岸道を小梨平河童橋をへて、バスターミナルに戻り、おみやげを求め往の逆コースで新宿駅にて19時20分散散しました。



参加者：福間(P35)岸(C37)河野(A40)新田(A46)千代延(E47)

令和元年6月1日～6月2日